

# 海の森化粧品は肌力が機能する肌環境をつくります

-疲弊している肌力を一旦休ませる-

海の森化粧品の役割は、健康で美しい肌(地肌・毛髪)を維持するために不可欠な肌力<sup>※1</sup>が機能する肌環境(疲弊している肌力を一旦休ませる)を作ることです。

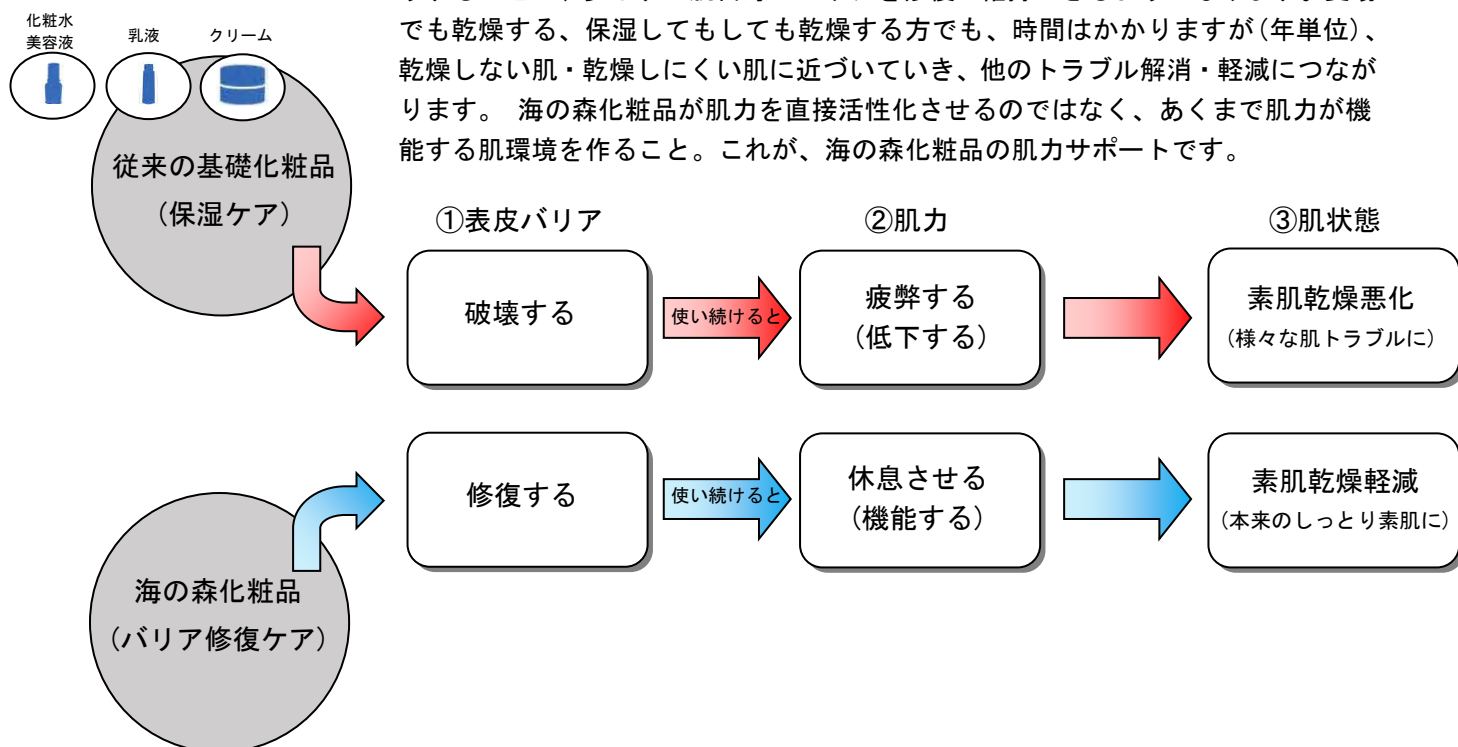
※1 肌の自然治癒力: 皮脂・汗分泌、ターンオーバー

## 肌力が機能する肌環境とは

肌トラブルは、肌力が低下し皮膚バリア(皮脂膜・角質層)を維持できなくなったとき現れるため、肌トラブルを軽減・解消し、健康な素肌を維持するためには、肌力の維持が欠かせません。肌力は年齢とともに低下していきませんが、低下を早める原因として、空気の乾燥、紫外線、菌増殖、欧米食、運動・睡眠不足、ストレスなどたくさんあります。特に影響を及ぼすのが、洗顔剤・クレンジング剤、保湿化粧品、日焼け止めを使った日頃のスキンケアです。その中でも、トラブル対策として多くの方が行っている、乳液・クリーム、美容液、オイル、パック、ゲルなどの保湿化粧品を使った保湿ケア。保湿ケアを続けていると、もともと肌力がある健康人の肌でも肌力低下が早まり、「肌がカサカサする」「肌がヒリつく」「肌がかゆくなる」など、皮膚バリアが弱まることで、乾燥をはじめとした様々な皮膚トラブルが現れるようになります。

保湿ケアでは、保湿成分や美容成分を浸透させるために、合成界面活性剤やアルコールで皮膚バリアを壊します。本来、皮膚バリアは壊れても、空気乾燥、紫外線、菌増殖、化粧品などの様々な刺激から肌を守るために、肌は自力でバリアを修復します。そのため、短期間の使用であれば肌トラブルは起こりません。しかし、保湿ケアによって皮膚バリアを壊し続けると、肌力がフル回転し、やがて疲弊してしまいます。すると、肌力だけでは皮膚バリアを元の状態に戻すことができなくなり、常に皮膚バリアが壊れた状態となります。結果、まず素肌乾燥が悪化。保湿ケアへの依存度が強くなることで、ますます肌力が疲弊し、くすみ、しみ、しわ、たるみ、毛穴の開き・黒ずみ、ニキビ、アトピーなど、様々な皮膚トラブルにつながるだけでなく、なかなかおさまらない(肌トラブルを繰り返す)という負のスパイラルになります。

海の森化粧品は、ビタミンEを含む不飽和脂肪酸(タイプ1のセラミド)の弱酸性膜で皮膚バリアを修復し<sup>※2</sup>、肌力低下の原因となる空気乾燥などの刺激から肌を守ることで、フル回転で疲弊してしまった肌力を一旦休ませる肌環境を作ります。そうすることで、少しずつ肌自身でバリアを修復・維持できるようになります。夏場でも乾燥する、保湿してもしても乾燥する方でも、時間はかかりますが(年単位)、乾燥しない肌・乾燥しにくい肌に近づいていき、他のトラブル解消・軽減につながります。海の森化粧品が肌力を直接活性化させるのではなく、あくまで肌力が機能する肌環境を作ること。これが、海の森化粧品の肌力サポートです。



※海の森化粧品は、合成界面活性やアルコール不使用のためバリアを壊す心配はありません。また、化学薬剤も使用していないため、抗原抗体反応を引き起こすリスクも、肌力活性の源となる細胞外液を汚す心配もありません。昨今、ナノレベルにした成分で、バリアを壊すことなく細胞を直接刺激・活性化させる肌力サポート化粧品もありますが、その効果は使用している時のみとなります。長期にわたる異物侵入は、生体にとって好ましくない、抗原抗体反応を引き起こすリスクや、肌力活性の源となる細胞外液を汚すことになり、肌力低下につながります。

#### ※ワセリン・オイルとの違い

ワセリンなどのオイルは、不純物が少なく刺激が少ないため、アトピーや肌の弱い方でも安心して使用できるのが特長ですが、目的はあくまで皮膚表面を保護することです。皮膚表面を油膜で覆うことで乾燥を防ぐことはできますが、表皮バリアの中心となる角質バリアは壊れたままです(角質バリアを修復できていない)。多量あるいは長期間の使用は、肌力低下につながります。

※タイプ1のセラミド(<http://uminomori.com/wp-content/uploads/2017/03/f2c0e7f036e494995b65cf25825f40da.pdf>)